

ラグーマンから農業の道へ（磐田市）

R7.5.27訪問



お名前	遠藤 広太さん
就農した時期	2021年3月（就農4年目）
栽培品目・面積	海老芋 70a とうもろこし 30a など
販路	JA、農産物直売所等
働き手	従業員2名（本人含む） パート最大4名



（写真：ご本人提供）

■ 就農したきっかけ

ラグビー選手としてプレーし、引退後はチームで普及活動に従事しました。青森県の実家はりんご農家であり、りんごを配って「おいしい」と喜ばれた経験から、自分も農家となり消費者に喜ばれるものを作りたいと考え、就農を目指しました。

■ 活用した支援策

「農業次世代人材投資資金」のうち「経営開始型」と磐田市の「磐田市特産品（海老芋）承継事業」を活用しました。

■ 工夫したこと

肥料が高騰しており、購入費を抑えるために未利用資源を活用しています。きのこと類を生産する企業の廃菌床や近隣の農家のもみ殻を使い、自ら堆肥を製造して使用しています。

■ 今後の展開や取り組みたいこと

今後の経営安定化のために、県内だけではなく県外の飲食店への販路拡大を目指していきたいです。

また、フードロス事業に取り組んでいる浜松市の企業と共同で、規格外の海老芋を使用した「海老芋塩ショコラ」を商品化し期間限定で販売しました。食品ロス削減に加えて収入の増加にもつながっていることから、今後も継続して取り組んでいきます。